

BRICs とは

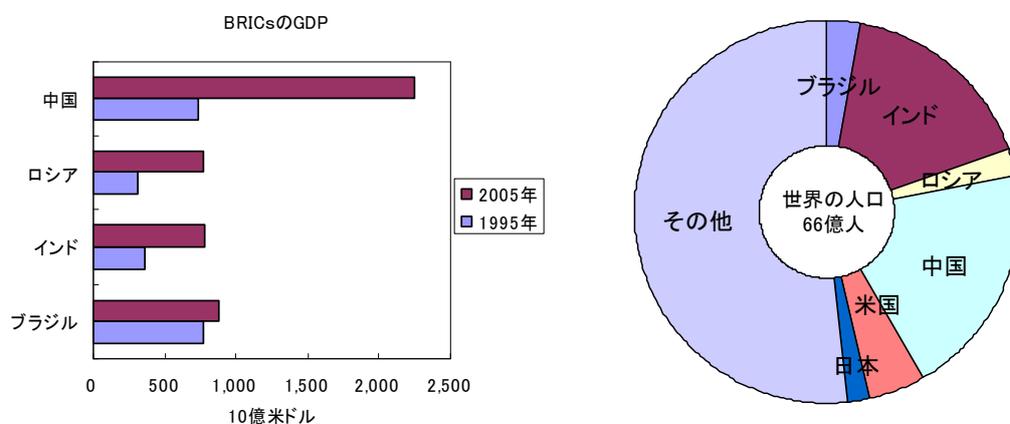
2007年10月

BRICs（ブリックスと読む）とは、ブラジル、ロシア、インド、中国の英語の頭文字をとったもので、この急速に発展している4カ国を総称している。BRICs は近年目覚ましい成長をとげており、かつてのNIEs やNICs のように急速に発展している新興国として注目されている。

BRICs という言葉が最初に使われたのは、米国のゴールドマン・サックス (Goldman Sachs) が 2003 年に “Dreaming with BRICs : The Path to 2050” (Dominic Wilson, Roopa Purushothaman Global Economics Paper No: 99) という 投資家向け分析レポートを発表したものである。

<http://www2.goldmansachs.com/insight/research/reports/report6.html>

BRICs 4 カ国は、経済の規模が大きいと同時に、経済成長の速度も非常に早く、人口規模が大きい、広大な国土や豊富な鉱物資源を有しているなどの共通点があり、世界経済の中でその重要性を高めている。ゴールドマン・サックスの 2003 年のレポートの中で、2050 年の世界の国々の経済規模は米国、中国、インド、日本、ブラジル、ロシアの順になるのではないかと予測されている。



ゴールドマン・サックスは、2005年に“*How Solid are the BRICs*”というこの仮説の検証レポートを発表しており、この中で「4カ国は自分たちの当初予想を大きく上回る成長を遂げている」という認識を示している。現実には、中国とインドの世界経済のなかに占める割合の拡大は、われわれが日々感じていることであり、ロシアやブラジルのエネルギー、環境問題などに関する役割は予想以上に大きなものがある。

BRICs については、大喜多の友人たちが書いた「BRICs 経済がみるみるわかる本」(アジア&ワールド協会編著 PHP 出版) にながかりやすく解説してあるので、参照されてみるとよいだろう。